

トップガンジャーナル



理数クラブ

Journal of TopGun

第1号

活動レポート

トップガン理数クラブ「天神森の追究」

浜松トップガンプロジェクトの一つとして今年度より、静岡大学教育学部附属浜松小・中学校理数クラブがスタートしました。水曜日の放課後を中心に、附属浜松小・中学校に長く維持されてきた「天神の森」を科学の目で探求する講座とものづくり講座に取り組んでいきます。4月27日(水)第1回は、小学生17名、中学生30名が参加し、昨年の天神森観測隊発足式より、コツコツと測量をし、作り上げた天神森白地図をもとにこれからの追究課題を考えました。



2016.04.27(水)理数クラブ「天神森調査ガイダンス」

5月25日(水)の理数クラブから3つのコースに分かれて追究が始まります！

1. 二酸化炭素吸収量の測定・分析

天神の森に生育する樹木の太さや高さを計測し、その結果を分析して、天神の森が吸収・蓄積する二酸化炭素量を推定します。

その結果から、生態系の炭素循環の中で天神の森がどのような役割を果たしているのか、地球温暖化の問題解決に天神の森がどのように貢献できるのかを考えます。

2. 自動撮影カメラを使った動物の観測

都市に囲まれた緑地である天神の森は、様々な動物が利用しています。動物が発する赤外線に反応して撮影する自動撮影カメラを使って、天神の森のどんな環境をどんな動物が利用しているのかを探究します。

3. 授業に活用できる植物観察エリアの企画・設計

附属小学校では、理科の観察で天神の森を使っていますが、全体を草刈りしてしまうと、観察できる植物や昆虫が限られてしまいます。

そこで、天神の森に観察エリアを設け、附属小学校の理科に役立ててもらいます。このコースにはその企画から参加し、子どもの視点から観察エリアの設計を行います。